

(1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取り組みに関する成果や課題
生徒の進路実現を支援する学校	<p>教科指導</p> <p>(1) 進路実現に必要な基礎学力の向上 【取組状況の指標】 ・週末課題、夏季休業課題（全教科）</p> <p>(2) コースについての教職員の理解を深め、コース選択に関する情報を保護者や生徒にさまざまな機会を通して提供するとともに、個々の生徒の希望や適性、能力等を把握し、生徒一人ひとりが適切にコース選択できるよう支援する。 【取組状況の指標】 ・全体ガイダンス 3 回、学科別ガイダンス 1 回 個別相談会 1 回、保護者説明会 1 回、通信 10 号、教職員対象学科別体験講座 3 回 【達成状況の指標】 ・生徒アンケート（コースの満足度 80%、コースでの学習の充実度 85%） ・保護者アンケート（コースの満足度 80%、コースでの学習の充実度 80%）</p>	<p>【取組状況の評価結果】 ・全体ガイダンス 2 回、学科別ガイダンス 1 回、個別相談会 1 回、保護者説明会 1 回、通信 1 1 号、コース選択委員会 3 回</p> <p>【達成状況の評価結果】 ・第 1 希望のコースに決定した生徒 8 3. 2 %</p>	<p>【成果】 ・多くの生徒が所属するコースを選択して良かったと感じている 84.2% ・多くの生徒がコース選択に際して、必要な情報を得ることができたと感じている 82.0% (1 年)</p> <p>【課題】 ・前期選抜による入学者は所属する学科以外のコースに進むことができない。入学時のモチベーションを維持させるとともに、相談機能の充実を図る必要がある。</p>
	<p>進路指導</p> <p>(1) 進路に関するガイダンスや相談、情報提供等を充実させ、早い時期から自己に適した進路を主体的に考え選択できる力を養う。 【取組状況の指標】 ・学年別進路ガイダンス適宜、進路だより 5 号 【達成状況の指標】 ・就職試験の一次合格者 90%、入学試験の希望校への合格</p> <p>(2) 各学科と進路指導部との連携によるガイダンスや模擬面接などを行い、社会人として求められるコミュニケーション能力や基本的な生活習慣、マナー等を養う。 【取組状況の指標】 ・学科別進路ガイダンス、模擬面接指導 3 回 【達成状況の指標】 ・生徒、保護者アンケート（進路実現に関する講演会・面接指導の充実度 85%）</p>	<p>(1) 【取組状況の評価結果】 ・1 年次生 2 月、2 年次生 3 月に進路ガイダンスを実施、3 年次生には 4、6 月に進路講和実施 ・進路だより 8 号発行 ・保護者向け講話を 2 年次生 1 2 月、3 年次生 5 月に実施</p> <p>【達成状況の評価結果】 ・就職試験の一次合格者 70%、進学希望校合格率 79%</p> <p>(2) 【取組状況の評価結果】 ・学科別進路ガイダンスの実施 2 年次生 3 学科実施、3 年次生 6 月～7 月に 4 学科実施 ・3 年次生就職・進学模擬面接指導を 7 月～1 0 月に実施</p> <p>【達成状況の評価結果】 ・3 年次生アンケートの結果 83% が面接指導が充実していると回答 ・保護者アンケート回答 面接指導の充実 83%、自己実現 85%</p>	<p>(1) 【成果】 ・1 年次生から 3 年次生への首尾一貫した進路指導が進みつつある。</p> <p>【課題】 ・就職環境の厳しい状況を保護者、生徒が理解し、生徒自ら対処する力を養成する必要がある。 ・基礎学力、コミュニケーション能力の向上を学校全体で取り組む必要がある。</p> <p>(2) 【成果】 ・各科の状況に合わせた進路指導が行われた。 ・クラスによるばらつきはあるが、模擬面接の当初の目的は達成できた。</p> <p>【課題】 ・就職、進学希望者の比率によりクラスのガイダンス実施の方法を検討する必要がある。 ・模擬面接を学校全体で早期から取り組む必要性が増していると共に教職員の面接員としてのスキルのレベルアップも必要である。</p>

<p>(3) 生徒の進路希望を実現するための事業所との連携や求人開拓、大学訪問等を積極的に行う。 【取組状況の指標】 ・前年度就職実績のある全事業所の訪問</p> <p>(4) 「産業技術基礎」及び「キャリアデザイン」の内容や結果の検証を行い、3年間を通じた系統的なキャリア教育を構築する。また、キャリア教育への理解を深めるための教職員研修の在り方を検討し実施する。 【取組状況の指標】 ・産業技術基礎、キャリアデザインのテキスト等の改訂 ・キャリア教育に関する教職員研修2回 【達成状況の指標】 ・生徒アンケート(産業技術基礎の充実度 90%、キャリアデザインの充実度 70%)</p>	<p>(3) 【取組状況の評価結果】 ・4月～5月にかけて前年度就職実績事業所の訪問と滋賀方面及び女子の積極的採用事業所の開拓 【達成状況の評価結果】 ・4月～5月にかけて前年度就職実績事業所の100%訪問と前年度地元求人事業所への70%以上の訪問 ・女子の採用事業所の増加</p> <p>(4) 【取組状況の評価結果】 ・教科会を定期的に行い、授業内容や評価の充実を図った。 ・次年度に向けて、産業技術基礎の授業内容の改善計画と産業技術基礎ノートの改訂を行った。 ・キャリア教育についての教職員研修を実施した。 【達成状況の評価結果】 ・キャリアデザイン(3年)生徒アンケート「ためになった」74%</p>	<p>(3) 【成果】 ・事業所訪問により、卒業生の状況、事業所の求める人物、求人計画等の情報収集及び新規開拓ができた。 【課題】 ・昨年同様に学科やコース、男女によって求人数に偏りがあり、生徒の進路実現に向けて更なる事業所連携と求人開拓が必要である。</p> <p>(4) 【成果】 ・産業技術基礎の学習が、生徒の興味関心や適性にあつたコース選択につながっている。 ・多くの生徒が、一般常識やマナーなど実用的な学習に熱心に取り組んだ。 【課題】 ・産業技術基礎とキャリアデザインとの接続が十分とは言えない。また、1年次からキャリア教育に取り組む必要がある。 ・進学希望者は「キャリアデザインの内容は自分の進路にあまり必要でない」ととらえる傾向がある。 ・学習内容をより実用的かつ学力向上させるものにできないか検討する。</p>
生徒指導		
<p>(1) コーチングの理論にもとづいたコミュニケーションスキルを活用し、生徒の目標達成に至るまでの過程を支援する。 【取組状況の指標】 ・教職員対象のコーチング研修2回</p> <p>(2) 生徒の基本的な生活習慣やマナーの向上と社会性の涵養を図る。 【取組状況の指標】 ・生徒指導の手引き(職員用)、登校時の声かけ運動(毎日)、業間指導(毎日)、下校指導35回、駅周辺登校指導20回、PTA校外指導1回、前年度総遅刻者数の半減 【達成状況の指標】 ・教職員アンケート (規範意識向上の達成度 70%)</p>	<p>(1) 【取組状況の評価結果】 ・特別支援が必要な生徒への対応について、児童相談所に依頼し、現状をうかがう研修を実施した(研修1回)</p> <p>(2) 【達成状況の評価結果】 ・登校時の声かけ(毎日) ・下校指導(定期的実施) ・駅周辺登校指導(10回) ・PTA校外指導(1回) ・遅刻者数の半減(達成)</p>	<p>【成果】 ・各分掌の研修が多いので、今年度は精選して1回のみ実施した。 ・登校指導を行うことで、生徒の登校状況において、十分に効果があつた。</p> <p>【課題】 ・下校指導については、時間帯や場所なども含めて改善が必要である。 ・遅刻者への対応。</p>

喜びと意義を実感できる学校	<p>教科指導</p> <p>(1) 教員相互による授業見学や授業研究を通して指導力の向上を図り、生徒にとって「わかる授業」、「魅力ある授業」を構築する。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科における公開授業と事後協議会 100% <p>(2) 資格や検定試験に関する情報を保護者や生徒にさまざまな機会を通じて提供するとともに、資格取得や検定試験合格に向けての支援を充実</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格、検定カレンダー3回、勉強会や講習会の実施 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート(情報提供の満足度 85%、支援の充実度 80%) 保護者アンケート(情報提供の充実度 70%、支援の充実度 70%) 資格や検定に挑戦する生徒延べ 500 名、合格率 75% 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検定・資格カレンダーの発行 3 回 各教科、各学科における勉強会や補習の実施 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報提供が充実していると答えた 生徒 80.0% 保護者 58.1% 支援が充実していると答えた 生徒 79.1% 保護者 56.8% 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種検定、資格試験に述べ 905 名が受験し、497 名が合格した。(合格率 55%) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科等で勉強会や講習会等を行っているが、学校全体の取組になっていない。 保護者へ情報が十分に届いていない。
	<p>生徒指導</p> <p>(1) 1 年次生は部活動に全員加入し、心・技・体を鍛えるとともに、人間関係形成能力を養う。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動への積極的加入のための部紹介 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート(部活動の満足度等 70%) 	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の加入について、1 年次生は登録時点においては 100% 加入するものの、実際活動を年度末まで続けている者は半数に満たない。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国や東海レベルで活躍をしている部もあるが、さらに多くのクラブが活性化するようにしていくことが課題である。

<p>人権教育</p> <p>(1)生徒の人権についての理解と認識を深め、身の周りに存在する人権問題の解決に取り組もうとする行動力と人権感覚を高める。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象の人権講演会、教職員研修会 3回以上 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート(人権学習の充実度 90%)、 ・教職員アンケート(研修会満足度 95%) 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象人権講演会 各学年1回 計3回 ・教職員研修会 3回 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート 80% ・保護者アンケート 82% 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「力のある学校づくり」事業を通じて、生徒の基礎学力の定着を視点に、教職員自ら授業の改善を行ったことが生徒の学びと、「大切にされている」という自尊感情の育みにつながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの教員が参加できるように研修の時期や方法を工夫をする必要がある。校務等で参加が難しい場合にも研鑽を重ねられるようビデオや資料の提供を充実させていきたい。

<p>保健</p> <p>(1)自らの生活習慣を見つめ、自己の健康管理ができる生徒を育成する。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断後の事後指導、ほけんだより 8号 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、早退の数の減少 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の行動計画の目標を達成するために、各種検診の欠席生徒には後日に検診日を設定するなどして、全生徒がもれなく各種健康診断を受診した。その結果による事後指導対象生徒には、全員に再検査・精密検査の案内を配布し、受診するよう指導した。 ・「ほけんだより」は9号まで発行済み。年度内に10号の発行を計画している。その季節や学校行事などの話題をとり入れ、生徒が興味を持てるような内容になるよう工夫している。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24年度のデータが3月にならないと出そろわない。3年次生のみで比較すれば欠席数 27.5%の減、遅刻数 47.4%の減、早退数 52.1%の減であった。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>23年度</td> <td>24年度</td> </tr> <tr> <td>欠席 2912</td> <td></td> </tr> <tr> <td>遅刻 2280</td> <td></td> </tr> <tr> <td>早退 291</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	欠席 2912		遅刻 2280		早退 291		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調不良が理由で保健室に来校する生徒が昨年度より減少した。 ・生徒は掲示物、「ほけんだより」、検診の結果などにより、生活習慣を省みて、概ね自己の健康管理に努めることができた。 ・(生徒アンケートより、「自己の健康管理ができたと思う」と答えた生徒の割合 84.3% 昨年 82.1) ・保健室来室生徒数に対する内科来室生徒の割合は比較的強く抑えることができています。 ・保護者と面談することで、医療機関への受診が実現したケースがあった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興センター利用者数が多い状況が続いている。各科や教科、部活動顧問などより連携を強め、生徒が自己の健康管理に努めるよう指導しなければならぬ。 ・欠席等の生徒を日々把握して保健指導に生かしたい。
23年度	24年度									
欠席 2912										
遅刻 2280										
早退 291										

<p>教育相談</p> <p>(1) 教育相談研修会を実施し、教職員のカウンセリングマインドの向上を図る。また、スクールカウンセラーとともに、悩みをもつ生徒や保護者、教職員を支えられる相談体制の充実を図り安心して活動できる学校をつくる。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修3回、生徒や保護者に対する教育相談に関する案内 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者アンケート(相談体制の満足度 70%) 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談、来室の生徒に対して、スクールカウンセラーの助言を得て、保健部と協力して対応することができた。 ・教育相談に関する研修会3回 生徒指導部との共催の研修会1回、 ・教育相談に関する案内 入学時1回 ・スクールカウンセラー来校日の案内 年5回 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談できる先生やスクールカウンセラーがいると答えた生徒 66.4% 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングを受けることで心の安定を取り戻し、学校生活に前向きになれている生徒が複数いる。 ・教職員にとって、スクールカウンセラーの存在は心強く、悩みをかかえる生徒への対応についての的確な助言により効果的に指導にあたることができた。また、医療機関との連携の指示により早期治療につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングを必要とする生徒や保護者が増えつつあるが、相談時間が限られている。必要な人が専門的なカウンセリングを十分に受けられるような体制が必要である。 ・多忙により研修会に出られない職員が多い。
<p>環境整備</p> <p>(1) 毎日の清掃指導の徹底を通して環境の美化に努め、落ち着いて学習できる環境を整備する。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃指導の徹底 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や廊下にゴミが落ちていない状況の維持 	<p>(1)</p> <p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃について、区域担当の先生よりきめ細かくご指導いただき、生徒たちも学校の美化につとめていた。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時に教室やゴミが落ちていることはあるものの、回数的には少ない。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々のSHR後の清掃以外に、クラスマッチに美化コンクールの種目を加えるなどの工夫をし、生徒に環境美化への意識の定着をはかった。

<p>(1)地域の商工会議所や事業所等と連携し、生徒対象の外部講師による授業や講演会、卒業生との懇談会等を実施する。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会等2回以上 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加生徒の満足度 90% 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式の外部講師による講演、2年次生については商工会議所、地元企業との連携でインターンシップ、3年次生は希望者による上野東ロータリークラブ主催の模擬面接を実施した。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式の講演については評価の指標となるデータはないが、専門高校入学生へのメッセージとなった。 ・インターンシップについては生徒アンケートでは95%が「職業の選択に役立った」と回答していた。 ・模擬面接については就職試験後のアンケート結果で「非常に役に立った」「少し役に立った」がほぼ100%であった。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、クラブ活動等がアピールになり、インターンシップの受け入れ、指定校求人新たな開拓ができた。 ・2、3年次生の取り組みは、地域団体との連携により専門高校の特色を出すことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次生の早期進路実現に向けた取り組みは継続して検討していかなければならない。 ・学校全体の行事が増える中で、必要なもの、力を入れるものをはっきりさせ、行事を精査する必要がある。
生徒指導		
<p>(1)各部が地域や県の代表として活躍できるように部活動の振興に取り組む。</p> <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県代表としての東海、全国大会への参加状況 ・文化祭や校外における文化部の発表状況 	<p>(1)</p> <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技部 全国3位 ・弓道部 全国大会出場 ・卓球部 東海大会出場 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会に出場できる部を増やすこと。
総務		
総務・学年・情報		
<p>(1)学校の取組や生徒の様子などを、ホームページや各種通信等を通して発信するとともに、保護者や地域からの要望や意見等を聞く機会を設ける。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実、自治会だより、学年通信6号、報道機関への情報提供、家庭訪問1回三者懇談会2回、各種アンケート <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート(各種情報提供に関する充実度 70%) 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年通信 1年次 2年次 3年次 3回 ・自治会だより 	<p>【成果】</p> <p>【課題】</p>

<p>各教科・学科</p> <p>(1)生徒の学習成果の発表の機会を積極的に設ける。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が主催するイベント等での交流、実習生産品の販売を通じた地域交流、デザインコースの卒業制作展 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習作品等の外部評価 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忍者フェスタ、産業教育フェア、白鳳カフェ等における実習作品展示即売会 ・卒業制作展 ・以降種交流における技術や知識の伝達、紹介 ・随時生産物を販売しています。 ・不定期に介護教室や、クッキー教室等を開催しました。 ・東小学校との連携事業で児童に産業技術基礎の授業を見学してもらうとともに、本校生徒と意見交換を行った。 ・東小学校で生活福祉コースの生徒によるパネルシアターを開催しました。 ・緑ヶ丘中学校の生徒を本校に招き、本校の特色等について説明するとともに、実習の様子を見学してもらった。 ・寺田市民館文化祭において農産物を販売しました。 ・定期的に本校で伊賀流ふくし塾を実施しました。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生、保護者、地域住民等の本校に対する理解を深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部から連携を依頼される場面が増えてきた。本校について広く理解していただくためには良い機会になるのだが、内容と生徒たちへの教育的な効果の点で精査が求められる。
<p>組織能力の向上</p> <p>(1)学校の方針や課題、家庭・地域のニーズなどを全職員が共有し、生徒や保護者、地域に愛される学校づくりを進める。</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職による教育方針の発信と教職員の意見聴取の機会づくり ・行事や取組後の振り返りの実施と情報共有 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員満足度アンケート(情報共有に関する満足度 70%) 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員との意見交換を踏まえて学校経営の改革方針を策定した。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のビジョンに対する教職員の共通理解について、満足していると答えた教職員32.6% 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内行事のみでなく校外や地域との関わりを深める取組みがいくつか見られた。 (小中学校との関連、忍者フェスタや白鳳カフェ等) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事などの振り返りができなかったため、行事・取組後の振り返りの場づくりが必要であり。 ・共通理解を図るための対話の機会やしきみづくりが必要である。 ・各分掌等が主体的に改善活動に取り組めるよう目標設定の在り方や改善方法などについて検討する必要がある。
<p>(2) 組織の状態の評価結果</p> <p style="text-align: center;">アセスメントから明らかになった状況</p>		

強 み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門性の高い教師集団であり、生徒一人ひとりにきめ細かい指導ができるだけの教員数を有している。 ・ 家庭訪問、PTA活動、部活動などを通して保護者との連携を密にし、信頼関係を構築している。 ・ 地域唯一の専門高校として、地域の期待に応えられる体制がある。
弱 み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校のビジョンに対する共通理解が十分ではない。 ・ 組織が大規模のため7つの専門科を持つことの良さや組織力を十分生かし切れていない。 ・ 教職員間の意思疎通が十分ではなく、共有した情報を十分に使いこなせていない。また、個々の生徒に関する情報共有が図られていない。

(3) 学校関係者による評価結果

学校関係者による評価結果	
関係者 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で生徒に力をつけるべく、様々にご指導していただいていることがわかる。 ・ 目標として挙げてあるアンケート指標と結果がかい離しているケースも一部にみられるが、アンケートの結果が必ずしも正しいと言えないため、アンケート結果が一人歩きすることがないようにしてほしい。 ・ 欲を言えば、単一の専門高校よりは分野の幅が広いのだから、農工商福の連携をはかれる場が増えるとよい。

(4) 組織力向上のための取組（改善策）

次年度に向けた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の対話の機会を増やす。 ・ 各行事や取組後に振り返りを行うとともに情報共有を行う。 ・ 内側から見えやすい学校づくりをめざし、情報発信を行う。